

令和3年度

# 年度学校評価書

令和4年2月7日(月)



学校歯科医による歯磨き指導(11月:1年生)



栗盛図書館探検(10月:2年生)



消防署見学(12月:3年生)



矢立小学校との交流会「ポッチャ」(11月:4年生)



栄養教諭による食に関する指導(11月:5年生)



「命の授業」講師:菅原光子氏(11月:6年生)

大館市立釈迦内小学校

学校評価 Aと学校関係者評価 の評価区分	きわめて良好	学校評価 評価日 の評価基準	5	実現状況は極めてよく意識も高い／数値目標に対し100%以上達成
	良好		4	実現状況は良好で意欲もある／数値目標に対し80～99%達成
	おおむね良好		3	実現状況はおおむね良好／数値目標に対し60～79%達成
	やや不十分		2	実現状況はやや不十分で取組が不安定／数値目標に対し40～59%達成
	努力を要する		1	実現状況は不十分で努力を要する／数値目標に対し39%以下の達成

### I 学校運営と保護者・地域との連携

児童生徒の状況	学校評価A	外部評価	外部評価委員のコメント	
確かな組織運営を基盤として、学校の取組が保護者によく伝えられ、家庭や地域の方々の協力を得た活動が効果的に行われている。	前期	おおむね良好	おおむね良好	改善すべき場所を的確に把握しており、スムーズに修繕・改善が進んでいる。幼保小の連携がとてよく進められており、授業交流がよい。このようにうまく進められている地域は他にないので、これからも大切にしてほしい。2(4)について、コロナ禍で様々な制約の中ではあるが、関係機関との情報交換を密に行い、地域の教育力を積極的に活用してほしい。これからの取組に期待したい。
	年度	良好	良好	前期の反省を改善しながら取組をしている点が良い。今後は保護者と経営方針を共有し、協力と理解を深めながら学校運営の改善に役立ててほしい。情報発信はよくできている。課題は保護者からの情報をどう吸い取るかである。
善学校評価の概要と学校の改	<p>【前期(→年度)】1(2)について一各教室にエアコンが設置され、快適な環境で学習を進めることができた。感染症対策として、換気の仕方にも気を付けながら、効果的に活用していきたい。校舎や備品の老朽化が進み、故障や破損が目立ち始めている。毎月1日の安全日には職員が一斉に管理箇所の点検を行っているが、今後は日常的に管理箇所の点検を行うようにし、早期発見・早期修繕に努めたい。2(3)について→学校報を週に一回発行し、学校の様子を保護者と地域にお知らせしてきたが、学校ブログへの関心も高いことから、今後は学校報とブログの長所を生かし、併用しながらより詳しい情報の発信をしていきたい。(4)(5)について→幼保との連携として、1年生の授業参観や保育参観を行った。日程を見直すことで情報交換の時間確保に努め、よりスムーズな幼保から小への接続につなげていきたい。地域学校協働活動推進員の力を借りながら、地域学習の教材開発や人材の発掘を行い、より一層学習活動の充実を図りたい。</p> <p>【年度(→次年度)】1(2)施設設備について→今年度はアメシロの大量発生やスズメバチの発生などが相次いだ。情報収集と日々の点検で早期発見に努め、関係機関に依頼しながら早急に対応することができた。二学期末に運転を誤った車が校地内に進入し、鉄棒が破損するという事案があった。雪解けを待って修繕を開始する予定であるが、侵入防止柵設置の要望もしている。2(3)情報発信について→学校ブログを活用し、積極的に学習や生活の様子を発信してきた。前期よりも肯定的な回答が多く得られたが、写真にモザイクがかかって顔が分からないという声も上がっている。様々なネットトラブルから児童を守るため、写真は雰囲気を与えるためのものとして、保護者の理解を得ていきたい。2(4)関係諸団体との連携について→コロナ禍で例年通りの開催はできなかったが、夏休みと冬休み前、町内児童会開催時に民生委員との情報交換会を行うことができた。2月には「釈迦内の子どもを育てる会」を予定している。来年度は民生委員と語る会を復活させ、情報交換を通してより密な連携を行ってきたい。地域学校協働活動推進員のもと、校外学習や高学年の家庭科など、たくさんの地域の方々に協力してもらいながら学習を進めることができた。今後は地域人材の積極的活用として、地域の歴史や技術を学ぶなど、授業における講師としての依頼も考えていきたい。</p>			

評価指標	実践課題	主な取組	学校評価B	
			前期	年度
1 校内運営組織の機能化	(1) 職員会議、指導部会、学年主任会の計画的な運営	定期的な職員会議、指導部会、学年主任会、学団部会、各種委員会の開催	4	4
	(2) 教育活動に生きる事務運営と施設設備の管理	学年・学級会計事務の効率化、教材備品の計画的購入、定期的な施設設備の点検と補修		
2 学校や子どもの情報の受発信、地域の教育力の活用	(3) 家庭への定期的・効果的な情報発信	PTAでの説明と講話等、学年・学校報の発行、ホームページの公開、学校ブログの開設、諸行事の案内	3	4
	(4) 関係諸団体との連携強化と教育力の活用	子どもを育てる会や民生委員の会等関係機関との情報交換、地域学校協働本部等での積極的な人材、施設活用		
	(5) 幼・保・中との連携	運動会、ひまわり活動や田植え、ひまわり油等販売活動での交流、中学校職場体験、小中連携研究会の実施		

#### ○児童 □保護者 ■教職員

##### [1(2)教育活動に生きる事務運営と施設設備の管理に関すること]

##### ・後期改善または対応を行った箇所、事案

- ①管理棟ピロティ屋根の葺き替え
- ②アメシロ駆除
- ③ハチの巣撤去
- ④ピロティ屋根の雪庇撤去

##### ・次年度以降、大館市への要望

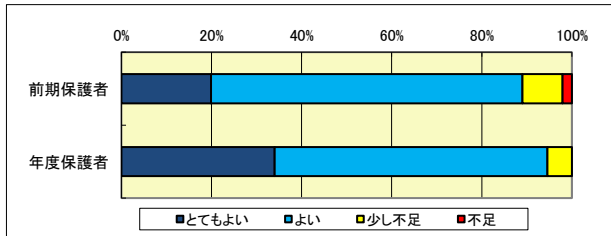
- ①小プール底面塗装の剥がれ・修繕【プール】
- ②体育館トイレの洋式化【トイレ】

##### ピロティ屋根の葺き替え工事と雪庇の撤去



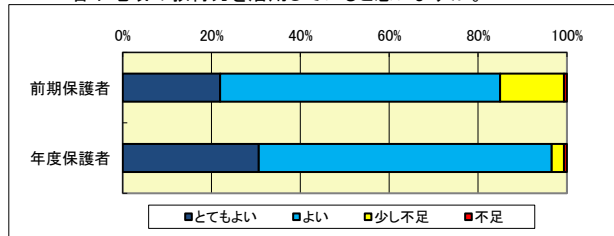
##### [2(3)家庭への定期的・効果的な情報発信に関するデータ]

□ 学校報、学年だより、学校ブログなどは学校や子どもたちの様子をわかりやすく伝えていると思いますか。



##### [2(4)関係諸団体との連携強化と教育力の活用に関するデータ]

□ 学校は、PTA活動や行事、各教科の学習、クラブ活動などで、保護者や地域の教育力を活用していると思いますか。



#### 情報発信



学校ブログ

#### 関係諸団体との連携強化と教育力の活用



2年生活科：町探検補助



6年家庭科：ミッション補助

#### 【今年度の取組】

- 3年社会科「農家の仕事見学」人材、施設探し
- 2年生活科「町探検」夏・秋2回引率補助
- 1・2年体育科「スキー」指導補助
- 6年家庭科「ミッション」指導補助



学校評価Aと学校関係者評価の評価区分	きわめて良好	学校評価の評価基準	5	実現状況は極めてよく意識も高い／数値目標に対し100%以上達成
	良好		4	実現状況は良好で意欲もある／数値目標に対し80～99%達成
	おおむね良好		3	実現状況はおおむね良好／数値目標に対し60～79%達成
	やや不十分		2	実現状況はやや不十分で取組が不安定／数値目標に対し40～59%達成
	努力を要する		1	実現状況は不十分で努力を要する／数値目標に対し39%以下の達成

## II 特色ある学校づくり

児童生徒の状況	学校評価A	外部評価	外部評価委員のコメント	
ひまわり活動を核としたふさとキャリア教育で児童のアイデアを生かした地域活性化が行われている。	前期	おおむね良好	おおむね良好	ひまわり活動が例年とは違う形でのアプローチとなったが、学校がひまわり活動を通して目指したキャリア教育の方向性が伝わってきた。今後は保護者に対する説明の機会をもっと設け、さらに理解を得られるようにしてほしい。機会あるごとに情報の発信を行い、情報提供を積極的にすることも大切にしてほしい。
	年度	良好	良好	今年度の児童主体による活動は、キャリア教育として間違いのない実践であった。授業中生き生きと発表している子どもたちの姿からも、自信につながっていることが伝わってきた。ひまわりに限らず、トンガ支援等、子どもたちのがんばりをPTAの際にビデオで流すなどの工夫をしながら情報発信を行い、保護者にも分かりやすく伝えてほしい。
改善校評価の概要と学校の	<p>【前期(一年度)】3(6)について→11年目のひまわり活動をスタートするにあたり、キャリア教育と経済教育についての学習会を企画し、全職員で育てたい力を明確にしながら進めてきた。今年度は、ひまわり活動を核とした探求的なプロセスを意識した学習となるように、生活科や総合的な学習の時間で学年テーマを設定し実践している。また、地域のよさを発見したり、なりたい自分を見付けられたりするように、地域・保護者の関わりはこれまで通りに行い、異学年交流や幼保小連携にも積極的に取り組んできた。3(8)について→6年生を中心に児童主体となるように活動を進めてきた。それにより自分たちの活動として前向きに取り組む児童が増えた。悩み、考えながら取り組む学びの場となっていたことが児童の評価からも読み取れる。しかしながら、児童の手で作業可能な範囲に規模を縮小して活動してきたことにより、地域や保護者との交流の機会が減ってきた課題がある。交流の機会を増やすことで、さらなるキャリア発達を図りたい。</p> <p>【年度(一学年度)】3(6)について→総合的な学習の時間や生活科以外にも、道徳や国語、図工でもひまわりプロジェクトを取り上げた授業実践に取り組むことができた。学校教育目標と本校のふさとキャリア教育のねらいも一致しており、ねらい達成のための活動内容を試行錯誤しながら実践できた1年であった。3(8)について→全国キャリア教育研究会・ひまわり感謝祭を通して、全国や地域に本校の実践を発信できた。他県の教育関係者との協議から学んだことも多く、本校のキャリア教育について新たな視点で考えるきっかけとなった。児童の回答を見ると、肯定的に捉えている割合が減少しているが、これはひまわり感謝祭以降、全校で取り組む活動が無かったことが関係していると考えられる。全体として、5年生を中心に、今年度中に来年度の方針を決定し、より学びのある活動になるようにしていく。</p>			

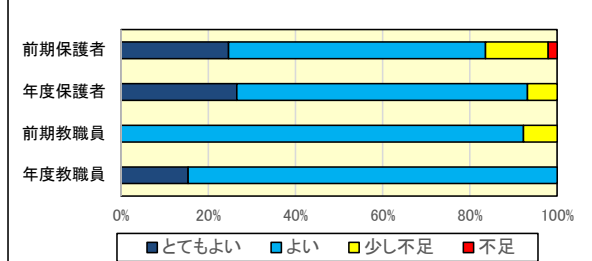
	実践課題	主な取組	学校評価B	
			前期	年度
3 児童主体のひまわり活動	(6) 特色ある教育課程の編成と実施	・付けた力を明確にしたふさとキャリア教育の推進・各教科等と関連させたカリキュラムマネジメント・キャリア教育と連動して育てる力の明確化	3	4
	(7) なりたい自分をイメージできる活動	・一戸一ひまわり運動・ひまわり感謝祭等の実施・異学年・地域の人、保護者との交流・他者との交流を、なりたい自分のイメージにつなげる振り返り(短作文)	3	4
	(8) 前向きに挑戦する心を育む活動	・6年生を中心とした取組・児童の発想や願い、問いを生かしたひまわり活動・生活科・総合的な学習に位置付けた各学年でのひまわりプロジェクト		

### ○児童 □保護者 ■教職員

#### [3(6)特色ある教育課程の編成と実施に関するデータ]

□学校は、ひまわり活動を核としたふさとキャリア教育を推進することで、地域の一員としての自覚やふさとへの発展に尽くそうと言う気概を培うことができていると思いますか。

■付けた力を明確にして、各教科やキャリア教育と連携したふさとキャリア教育を行うことができていると思いますか。

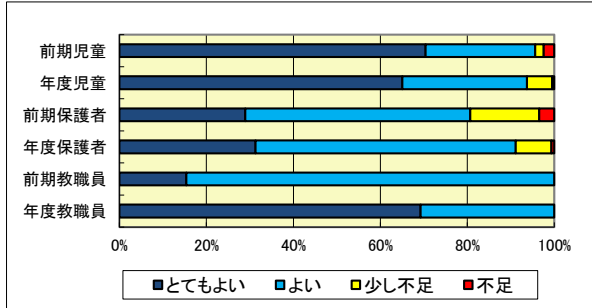


#### [3(8)前向きに挑戦する心を育む活動に関するデータ]

○ひまわりを育てる活動や各学年の活動に進んで取り組むことができましたか。

□学校は、児童の思いや願いを実現するために保護者や地域の方々や連携して、ひまわり活動に取り組んでいると思いますか。

■児童の思いや願い、問いを生かしたひまわり活動、生活科・総合的な学習の時間に位置付けた各学年の活動を行うことができていると思いますか。



ひまわり感謝祭で  
地域の方々に感謝を届ける



来年のひまわり活動を  
考える学習(5年生)



地域に笑顔をお届ける  
ひまわり人形(3年生)



学校評価 Aと学校関係者評価 の評価区分	きわめて良好	学校評価 日 の 評価 基準	5	実現状況は極めてよく意識も高い／数値目標に対し100%以上達成
	良好		4	実現状況は良好で意欲もある／数値目標に対し80～99%達成
	おおむね良好		3	実現状況はおおむね良好／数値目標に対し60～79%達成
	やや不十分		2	実現状況はやや不十分で取組が不安定／数値目標に対し40～59%達成
	努力を要する		1	実現状況は不十分で努力を要する／数値目標に対し39%以下の達成

### Ⅲ 児童の自主的・創造的な生活づくりと安心して生活・学習できる基盤づくり

児童生徒の状況	学校評価A	外部評価	外部評価委員のコメント
「なりたい自分に向かって挑戦しよう。」を合い言葉に、生徒指導の機能を生かした学級経営や特別活動を通して自己有用感や自己肯定感の向上を図っている。	前期	おおむね良好	児童のヒアリングを通して、児童会活動を楽しんでいることが伝わってきた。より自発的・自治的な活動となることを期待している。あいさつ運動はぜひ今後も継続し、より一層あいさつの向上につなげてほしい。いじめアンケートをもとに、学校全体で情報を共有し、対応に当たっているところがよい。今後も一人一人よく見て、対応をお願いしたい。
	年度	おおむね良好	「さくらんジャーの約束」について、焦点化して取り組み定着を図るのもよいが、見直しも必要である。今月の目標が各指導部から子どもたちに降ろす形を取っている。それも大事なことはあるが、子どもたち自身が決めて取り組む目標の方が、もっと子どもたちに分かりやすくなるのではないかと。

**改善校評価の概要と学校の**

【前期(一年度)】4(9)(11)について→日常の言葉遣いについて、生活・集会委員会が中心となり児童集会を開いた。児童の実体験をもとにした共感のもてる内容を劇で表現し、休み時間や友達との関わりの中で気になる言葉遣いや態度などを全校に呼びかけることができた。今後も児童が課題意識をもって主体的に取り組めるようにしていく。また、縦割り班遊びを通して、異学年交流を行った。上学年・下学年との交流を楽しみにしている児童も多く、今後も継続していく。4(10)「あいさつ」について、委員会の呼びかけのもと、各学年ごとに日替わりあいさつ運動を実施した。しかし、十分満足できる状態ではないので家庭にも協力を仰ぎ日常の生活指導でも継続して指導していく。5(12)について→いじめアンケートの時期に合わせて先生と話そう期間を設定し、児童の悩みを聞いたり、児童の頑張りを伝えたりすることができた。また、問題行動やトラブルなど教師間の連絡を密にし、早期対応に当たることができた。5(13)について→クマや不審者情報など、機を逃さず屋の放送を活用して全校に指導と情報提供を行った。今後も関係機関との連携を密に行い、安全確保に努めていく。

【年度(一年度)】4(9)について→「さくらんジャーの約束」について、全校集会や全校放送などを通して、約束の確認や注意喚起を行った。日常的に意識付けを図る手立てを講じ、さらに生活習慣の徹底を図っていききたい。4(10)について→楽しみながらあいさつする意欲を高められるように、生活・集会委員会によるあいさつ突撃隊やあいさつ居合い抜き運動などの活動を実施した。活動を通して進んであいさつする児童が増え、一定の効果が見られたので、児童のがんばりを機を逃さずに称揚し、意欲を持続出来るようにしていく。4(11)について→前期に引き続き、いいの日に縦割り班遊びを実施し、楽しんで交流する様子が見られた。4(12)について→いじめアンケートをもとにした教育相談や普段から教師間で情報共有を行い、問題行動やいじめの早期解決に向けて対応することができた。

評価指標	実践課題	主な取組	学校評価日	
			前期	年度
4 思いやりの心や規範意識を大切にしたい楽しい学校づくり	(9) 「意識化-見取り-称揚-定着」のサイクルを徹底した生活習慣づくり	・「さくらんジャーのやくそく」による基本的な生活習慣の指導・日常の言葉遣い指導	3	3
	(10) 美しい心を育むあいさつ運動・ボランティア活動	・あいさつ運動の工夫(一人一人があいさつリーダー、あいさつチャンピオン)・ボランティアデー(毎月25日)によるボランティアの奨励・ありがとう貯金		
	(11) 楽しい学校づくりに向けて進んで取り組む児童会活動や縦割り班活動	・委員会活動、さわやか朝会、代表委員会、児童総会等による児童の自発的・自治的な活動の助長・いいの日(毎月17日)の縦割り班遊びの奨励		
5 安心して過ごすことができる学級・学年経営	(12) 自己有用感のもてる学年・学級経営	・先生と話そう期間の設定・問題行動などの早期解決・日常の教育相談活動等・一日一声一触の実施	4	4
	(13) 安全・安心の基盤となる学びの環境づくり	・学校安全日・朝の交通安全指導・避難訓練・交通安全教室の実施		

#### ○児童 □保護者 ■教職員

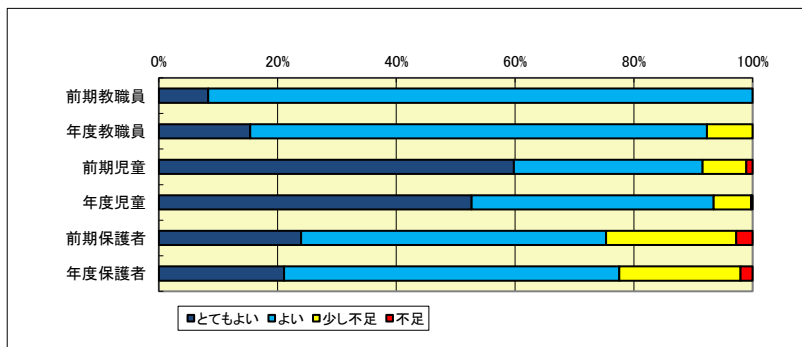
#### 【4 思いやりの心や規範意識を大切にしたい楽しい学校づくり に関するデータ】

(9)(10)「釈迦内小のやくそく」

○「さくらんジャーのやくそく」を意識して、校内のルールやマナーを守ることができましたか。

□ 学校は、基本的な生活習慣を身に付けさせるために「釈迦内小のやくそく」を活用したり、委員会を通してあいさつ運動を工夫したりしていますが、子どもたちに身に付いていると思いますか。

■ 「さくらんジャーのやくそく」による基本的な生活習慣の指導・日常の言葉遣い指導は十分にできているか。



#### 【あいさつ突撃隊(生活・集会委員)】

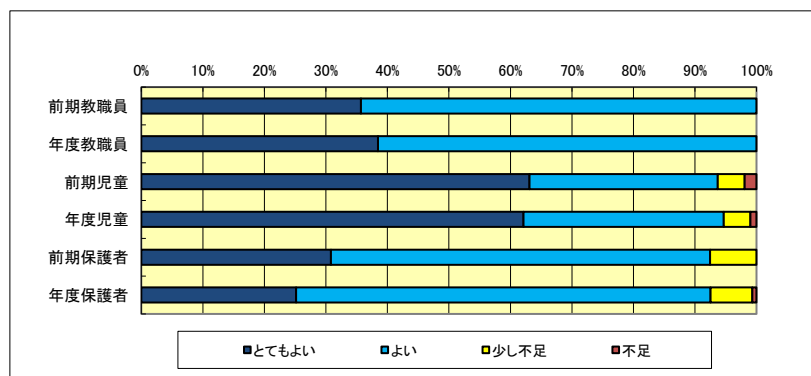


#### 【5 安心して過ごすことができる学級・学年経営 に関するデータ】

○ ぶだんの授業や学年での活動、係や当番活動、委員会活動(4～6年)を通して、自分や友だちのよいところを見つけたりすることができましたか。

□ 一人一人を理解し認めることで自己肯定感を高めたり、係や委員会活動を通して自己有用感を高めたりして、一人一人が安心して学ぶことができる学校づくりを目指していますが、そうなっていると思いますか。

■ 先生と話そう期間や問題行動などの早期発見・対応、交通安全指導など、安全・安心な学校づくりへの取組は十分にできているか。



#### 【全校に向けた生活指導】





学校評価Aと学校関係者評価の評価区分	きわめて良好	学校評価Bの評価基準	5	実現状況は極めてよく意識も高い／数値目標に対し100%以上達成
	良好		4	実現状況は良好で意欲もある／数値目標に対し80～99%達成
	おおむね良好		3	実現状況はおおむね良好／数値目標に対し60～79%達成
	やや不十分		2	実現状況はやや不十分で取組が不安定／数値目標に対し40～59%達成
	努力を要する		1	実現状況は不十分で努力を要する／数値目標に対し39%以下の達成

#### IV 健康的な生活習慣の確立と体力の向上

児童生徒の状況	学校評価A	外部評価	外部評価委員のコメント	
より健康的な生活のために生活習慣を見直し、運動に進んで取り組み、体力の向上を図っている。	前期	良好	良好	栄養教諭と連携した、食育指導がとてよよく行われている。どんどん他の学年にも広げていってほしい。児童は縄跳び運動に楽しんで取り組んでいるようである。今後も運動する機会を確保していってほしい。学校の取組を、児童は楽しみにしているようである。
	年度	良好	良好	栄養教諭や学校歯科医の活用が、児童の健康に対する意識向上に効果を上げている。メディアコントロールへの取組も3年目を迎え、目に見えて成果が出てきている。しかしこの問題は永遠の課題とも言えるため、毎年諦めず粘り強く進めていってほしい。
校の改善策の概要と学	<p>【前期(→年度)】6(14)(15)について→栄養教諭による食育指導を2学年で実施し、食事の大切さに気付くことができた。今後は他の学年でも実施予定である。朝の健康観察でハンカチ調べをしている。1年生は学活で手洗い指導を行った。学校歯科医や養護教諭による歯みがき指導を2学期に計画している。大館市一斉のメディアコントロール週間を2学期に実施予定である。7(16)について→マラソン運動では、がんばりカードを活用したり体育委員会から賞状を発行したりしたことによって、自主的な体力つくりの意識を高めることができた。後期はなわとび運動の実施によって、児童の意識を高め、体力向上を図りたい。</p> <p>【年度(→次年度)】6(14)(15)について→栄養教諭による食育指導を全学年で実施した。学校歯科医による歯みがき指導を1年生と4年生で実施した。専門的な立場から豊富な資料を提示していただき、児童は歯みがきの重要性を認識することができた。大館市一斉のメディアコントロール週間を実施した。メディアコントロールの達成率は74.8%で、これまでの3年間で最も高く、メディアコントロールに対する意識が高まってきている。7(16)について→業間運動としてなわとび運動を実施した。休み時間に自主的に練習したり、友だちや先輩の跳び方を見て参考にしたりする姿が見られた。期間の終わりに体育委員会主催のなわとびチャンピオン大会を行い、長く跳べた児童を表彰したことで、さらになわとびに対する意欲を高めることができた。</p>			

評価指標	実践課題	主な取組	学校評価B	
			前期	年度
6 健康的な生活習慣づくり	(14) 健康的・衛生的な生活の習慣化	・健康状態の把握及び指導(歯磨き、手洗い、メディアコントロール指導など)・清掃指導	4	4
	(15) 栄養バランスのとれた食習慣の定着、食に対する意識の高揚	食育指導、栄養教諭とのTT		
7 体力づくり	(16) 継続的な体力つくりと新体カテストの実施・活用	体育指導の充実と改善、マラソン、なわとびタイムの実施・データ分析と各学年の重点強化	4	4
	(17) 体育行事の充実	目標を持たせた事前事後指導		

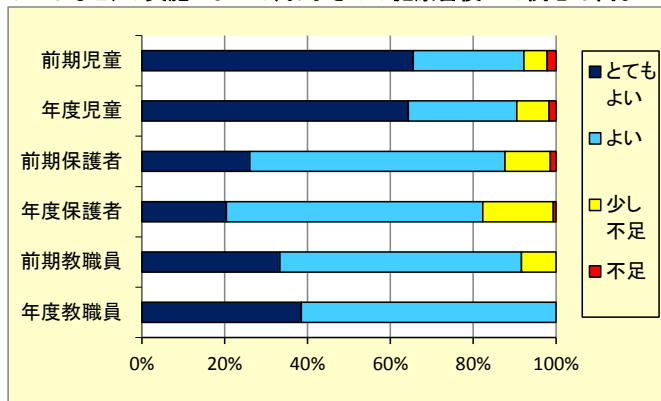
○児童 □保護者 ■教職員

#### 〔6(14)(15)健康的な生活習慣に関するデータ〕

○手洗い、アルコール消毒、ハンカチを身に付けるなどに気を付けて生活できましたか。

給食を好き嫌いせずにご食することができましたか。

□■学校は、健康指導(栄養教諭による食育指導、養護教諭による歯磨き指導や生活改善のためのすこやかチャレンジカードなど)の実施によって、お子さんの健康習慣への関心は高まってきていると思いますか。



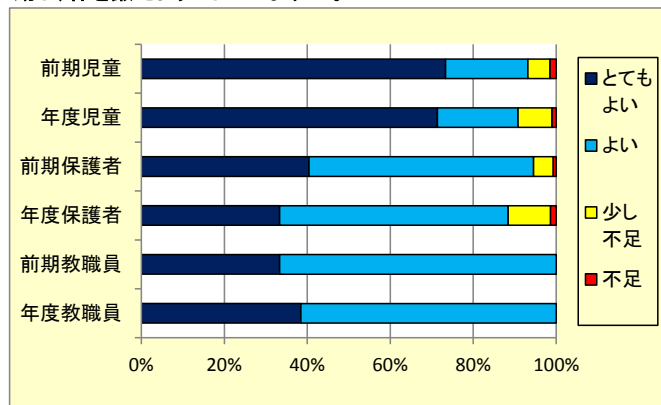
学校歯科医による歯みがき指導(1年)



#### 〔7(16)(17)体力つくりに関するデータ〕

○マラソンや外遊びなど進んで体力づくりをすることができましたか。

□■学校は、体力向上のためにマラソンやなわとびタイムの実施、外遊びの奨励をしていますが、子どもたちは進んで運動し、体を鍛えようとしていますか。



なわとびチャンピオン大会(3年)



学校評価Aと学校関係者評価の評価区分	きわめて良好	学校評価Bの評価基準	5	実現状況は極めてよく意識も高い／数値目標に対し100%以上達成
	良好		4	実現状況は良好で意欲もある／数値目標に対し80～99%達成
	おおむね良好		3	実現状況はおおむね良好／数値目標に対し60～79%達成
	やや不十分		2	実現状況はやや不十分で取組が不安定／数値目標に対し40～59%達成
	努力を要する		1	実現状況は不十分で努力を要する／数値目標に対し39%以下の達成

### V 自ら考え、学び合う授業づくりと確かな学力の定着

児童生徒の状況	自己評価A	外部評価	外部評価委員のコメント
子どもたちが共感的・協働的に学び合う学び合う授業づくりを行っている。	前期	おおむね良好	どの学年も授業に向かう姿勢がよくなっている。このがんばりを維持することで、学力の向上に結び付けていってほしい。親子読書が家庭の対話につながっている。高学年になると本の内容が難しくなったり量が多くなったりするため、取組に困難さが出てくる。低学年と高学年で取組み方に一考の余地があってもよい。
	年度	おおむね良好	授業の雰囲気がとてもよく、児童が生きてと学んでいる様子から、基本的学習習慣が形成されていることがうかがえる。「大事なことを落とさずに聞く」ことが課題であるが、来年度に向け、課題を解決するため具体的にどう進めていくか、全職員で共通理解しながら取り組んでいってほしい。
策 学校評価の概要と学校の改善	【前期(→年度)】8(18)に関して→学年毎に「家庭学習の手引き」を作成し、毎日の見届け・励まし等を実施してきた。取組み方がよく分からない児童もいるため、メニューを示したりよいノートの書き方を紹介したりしている。また、PTAに合わせたノート展を実施し、家庭への啓発にもつなげている。8(19)に関して→今年度から朝・昼2回の読書タイムを設定し、じっくりと本に向き合う時間を確保している。また、定期的な読み聞かせ、月1回の親子読書を行っている。栗盛記念図書館から学年に合う本の貸し出しをお願いをするなどの連携を図ったり、利用しやすい図書室の整備に取り組んだりして、読書への関心を高めていきたい。9(20)に関して→「何を」「どのように」学習したらよいのか見通しをもって学習できるよう、子どもたちとともに学習計画を立てたり、視点を明確にしたりして、授業を進めることを大切にしている。主体的に学ぶ姿勢が自分の考えをもち、互いに学び合う姿につながるのではないかと考える。教師自身が一人一人の考えを大切に、認め・ほめ・価値付けることで自信をもたせたり、子どもの考えを相互に「つなぐ」コーディネートをすることで深い学びにつなげていきたい。		
	【年度(→次年度)】8(18)に関して→「学習のやくそく」が身に付いているか、個人・学級全体で確認し、基本的な学習習慣の徹底を図った。児童の意識が高まり、学習に集中して取り組む姿が見られた。家庭学習などの取組は、個人差もあるため、家庭と協力して進めていきたい。8(19)に関して→栗盛記念図書館と連携し、教科と関連した図書にじっくりと触れる機会を設定したり読書強調月間に合わせた新刊図書を購入したりした。読書強調月間の目標を学年の実態に応じて設定したことで、6月よりも目標を達成できた児童が増え、意欲的に取り組めた。また、後期からは図書室便りを発行し、家庭でも読書を継続できるよう働きかけた。9(20)に関して→「ひまわりタイムで学び合う」ことに対して、楽しいと感じている児童が増えた。話し合いの形態を工夫したことで、自信をもって発言できるようになった。ただ、「大事なことを落とさずに聞く」ことが課題となっており、発達段階に応じた聞き方指導を丁寧に進めていきたい。9(21)に関して→学習状況調査やCRT検査に向けて、パワーアップの時間を設定し、基礎学力向上に取り組んできた。分析結果を基に、定着が十分でない内容については確実に回復指導し、次年度に生かしたい。		

評価指標	実践課題	主な取組	学校評価B	
			前期	年度
8 基本的学習習慣の形成	(18) 基本的な学習習慣の定着	・「学習のやくそく」に基づいた基本的な学習習慣の徹底・「学び合いの表現」の活用・「家庭学習の手引き」の作成・主体的な家庭学習の奨励・「お宝Myノート」の紹介	3	4
	(19) 読書活動の充実	・図書の活用・親子読書・読み聞かせなど		
9 確かな学力	(20) 学び合い、生き生きと表現する授業づくり	・身に付けたい力を明確にした授業構想・わらいに応じた学習形態の工夫・考えの共有、追求の場の設定(ひまわりタイム)・学びを深める発問の吟味と「つなぐ」意識の徹底・学びの価値付けと自己肯定感の醸成	3	3
	(21) 基礎学力・語彙力を高める場の設定と諸検査の活用	・短作文コーナー等の設置・全校漢字計算テストの実施による基礎的学習内容の習熟・各種検査の分析と回復指導・NIEへの取組		

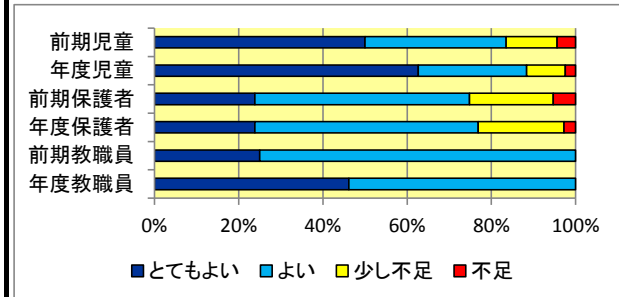
#### ○児童 □保護者 ■職員

#### 【8(18) 基本的な学習習慣の形成のデータ】

##### 基本的な学習習慣の充実

○家庭学習(一人勉強・宿題)を続けて学習することができましたか。  
□学校は、学習習慣の形成として「学習のやくそく」や「家庭学習の手引き」を活用し、基礎学力の向上を目指していますが、一人勉強やプリント学習など、継続して学習する習慣が身に付いていますか。

■「学習のやくそく」や「家庭学習の手引き」の活用、ノート展などの実施は、基本的な学習習慣の定着につながりましたか。

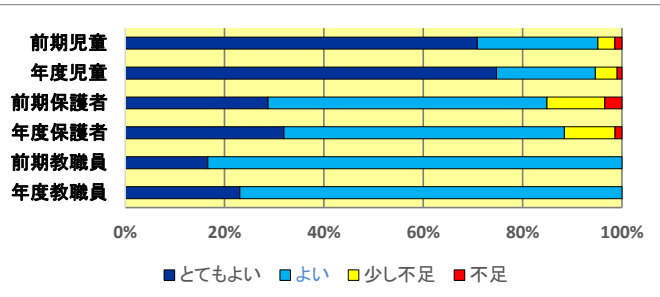


#### 【8(19) 基本的な学習習慣の形成のデータ】

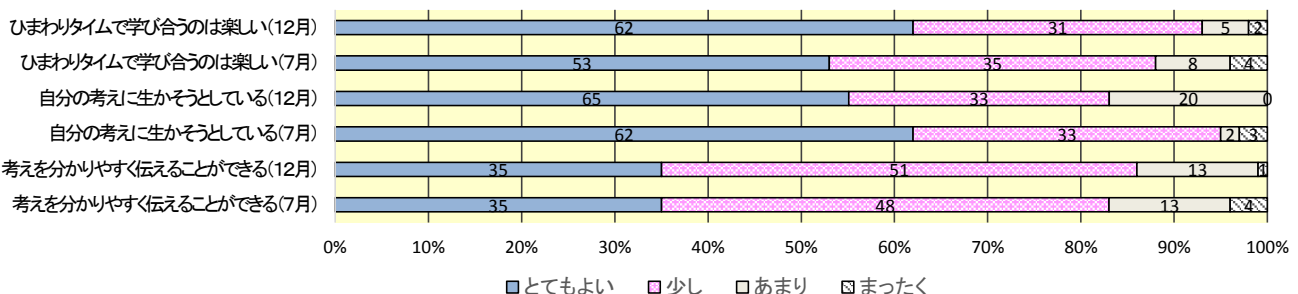
##### 読書活動の充実

○図書室を利用したり、すすんで読書をしたりすることができましたか。  
□読書タイムや図書室の利用、月一回の読書運動、先生や児童の読み聞かせは、お子さんの読書への関心は高まっていると思いますか。

■図書の活用や親子読書、読み聞かせは、読書活動を充実させるための手立てにつながったと思いますか。



#### 【9(21) 確かな学力に関わること】: 年度(研究部アンケートより)学習アンケートの結果



令和3年度・年度学校評価一覧		大館ふるさとキャリア教育(ふるさとを担う「未来大館市民」の育成)							
学校教育目標 ～桜三心 向陽三行～ 美しい心と たくましい実践力のある 子どもの育成		重点目標 「なりたい自分」に向かって前向きに挑戦する子どもを育てる「感謝」～SP10周年～							
人間的基礎力・大館市民基礎力・大館市民実践力の育成	評価項目	自己評価A (上段・前期) (下段・年度)	学校関係者評価 (上段・前期) (下段・年度)	評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B (前期)	自己評価B (年度)	
	I	学校運営と保護者・地域との連携 (教頭・事務)	確かな組織運営を基盤として、学校の取組が保護者によく伝えられ、家庭や地域の方々の協力を得た活動が効果的に行われている。	おおむね良好	おおむね良好	1 校内運営組織の機能化	(1) 職員会議、指導部会、学年主任会の計画的な運営 (2) 教育活動に生きる事務運営と施設設備の管理	・定期的な職員会議、指導部会、学年主任会、学団部会、各種委員会の開催 ・学年・学級会計事務の効率化・教材備品の計画的購入 ・定期的な施設設備の点検と補修	4
良好				良好	2 学校や子どもの情報の受発信、地域の教育力の活用	(3) 家庭への定期的・効果的な情報発信、学校公開日の実施 (4) 関係諸団体との連携強化と教育力の活用 (5) 幼・保・中との連携	・PTAでの講話、学年、学校だよりの発行 ・ホームページやブログでの発信 ・みんなの登校日・諸行事の案内 ・子どもを育てる会や民生委員の会等関係機関との情報交換 ・地域学校協働本部等での積極的な人材、施設活用 ・運動会、ひまわり活動や田植え作業等での交流 ・小中連携研究会の実施	3	4
II	特色ある学校づくり (教務・ひまわりPT)	ひまわり活動を核としたふるさとキャリア教育で児童のアイディアを生かした地域活性化が行われている。	おおむね良好	おおむね良好	3 児童主体のひまわり活動	(6) 特色ある教育課程の編成と実施 (7) なりたい自分をイメージできる活動 (8) 前向きに挑戦する心を育む活動	・付けたい力を明確にしたふるさとキャリア教育の推進 ・各教科等と関連させたカリキュラムマネジメント ・キャリア教育と連動して育てる力の明確化 ・一戸一ひまわり運動、ひまわり感謝祭等の実施 ・異学年、地域の人、保護者との交流 ・他者との交流を、なりたい自分のイメージにつなげる振り返り(短作文) ・6年生を中心とした取組 ・児童の発想や願い、問いを生かしたひまわり活動 ・生活科・総合的な学習に位置付けた各学年でのひまわりプロジェクト	3	4
			良好	良好		(9) 「意識化－見取り－称揚－定着」のサイクルを徹底した生活習慣づくり (10) 美しい心を育むあいさつ運動・ボランティア活動 (11) 楽しい学校づくりに向けて進んで取り組む児童会活動や縦割り班活動	・「さくらんぼのやくそく」による基本的な生活習慣の指導 ・日常の言葉遣い指導 ・あいさつ運動の工夫(一人一人があいさつリーダー、あいさつチャンピオン) ・ボランティアデー(毎月25日)によるボランティアの奨励 ・ありがとう貯金 ・委員会活動、さわやか朝会、代表委員会、児童総会等による児童の自発的、自治的活動の助長 ・いいなの日(毎月17日)の縦割り班遊びの奨励	3	3
III	児童の自主的・創造的な生活づくりと安心して生活・学習できる基盤づくり (生活指導部)	「なりたい自分に向かって前向きに挑戦」を合い言葉に、生徒指導の機能を生かした学級経営や特別活動を通して自己有用感や自己肯定感の向上を図っている。	おおむね良好	おおむね良好	4 思いやりの心や規範意識を大切にした楽しい学校づくり	(12) 自己有用感をもてる学年・学級経営 (13) 安全・安心の基盤となる学びの環境づくり	・先生と話そう期間の設定・問題行動などの早期解決・日常的教育相談活動 ・一日一触れの実施 ・学校安全日・朝の交通安全指導・避難訓練・交通安全教室の実施	4	4
			良好	良好	5 安心して過ごすことができる学級・学年経営	(14) 健康的・衛生的な生活の習慣化 (15) 栄養バランスのとれた食習慣の定着、食に対する意識の高揚	・健康状態の把握及び指導(歯磨き・手洗い・メディアコントロール指導など) ・清掃指導 ・食育指導、栄養士とのTT	4	4
IV	健康的な生活習慣の確立と体力の向上 (保健体育部)	より健康的な生活のために生活習慣を見直し、運動に進んで取り組み、体力の向上を図っている。	良好	良好	6 健康的な生活習慣づくり	(16) 継続的な体力づくりと新体力テストの実施・活用 (17) 体育行事の充実	・体育指導の充実と改善、マラソン、なわとびタイムの実施・データ分析と各学年の重点強化 ・目標を持たせた事前事後指導	4	4
			良好	良好	7 体づくり	(18) 基本的な学習習慣の定着 (19) 読書活動の充実	・「学習のやくそく」に基づいた基本的な学習習慣の徹底・「学び合いの表現」の活用 ・「家庭学習の手引き」の作成・主体的な家庭学習の奨励・「お宝Myノート」の紹介 ・図書の利用・親子読書・読み聞かせなど	3	4
V	自ら考え、学び合う授業づくりと確かな学力の定着 (学習指導部・研究)	子どもたちが共感的・協働的に学び合う授業づくりを行っている。	おおむね良好	おおむね良好	8 基本的学習習慣の形成	(20) 学び合い、生き生きと表現する授業づくり (21) 基礎学力・語彙力を高める場の設定と諸検査の活用	・身に付けたい力を明確にした授業構想・ねらいに応じた学習形態の工夫 ・考えの共有、追究の場の設定(ひまわりタイム)・学びの価値付けと自己肯定感の醸成 ・学びを深める発問の吟味と「つなぐ」意識の徹底 ・短作文コーナー等の設置・全校漢字・計算テストの実施による基礎的学習内容の習熟 ・各種検査の分析と回復指導・NIEへの取組	3	3
			おおむね良好	おおむね良好	9 確かな学力			3	3